

平成 28 年度 燕市食育推進計画の進捗状況

健康づくり課

施策の体系 基本理念「食を通して心と元気なからだを育てます」

基本目標	施策	具体的な取組	H28 担当課及び評価(※)	資料No.
健康 目標1 正しい食の知識を持ち 望ましい食生活を実践する。	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 肥満と生活習慣病の予防 歯や口の健康づくりに関する普及啓発	① ・給食・食育だより、給食ニュース、食育ポスターなどの情報発信	子育て支援課(A)・学校教育課(A)	No.1. 2
		② ・広報紙、ホームページなどを活用した食育情報の提供	子育て支援課(A)・学校教育課(A)・健康づくり課(A)	No.1. 2. 3
		③ ・各種健康診査、健康教育などでの生涯各期に応じた食育の推進	子育て支援課(A)・学校教育課(A)・健康づくり課(A)・健康づくり課(A)・子育て支援課(A)・健康づくり課(A)	No.1. 2. 4. 5. 6. 7
		④ ・歯科健診などでの生涯各期における歯科保健の推進	子育て支援課(A)・健康づくり課(A)・健康づくり課(B)・長寿福祉課(B)	No.1. 4. 8. 9
		⑤ ・親子を対象に食育講座などでの食育の推進	子育て支援課(A)・社会教育課(実施予定)・健康づくり課(A)・社会教育課(B)	No.1. 10. 11. 12
		⑥ ・家庭料理講座、男性の料理講座など生涯各期における各種料理講習会を通じたバランス食の推進	健康づくり課(A)・社会教育課(B)・健康づくり課(A)	No.5. 12. 13
		⑦ ・男女ともに家事参加への推進	健康づくり課(A)・健康づくり課(A)	No.5. 13
		⑧ ・保護者会や給食試食会などの機会を利用した食育の推進	子育て支援課(A)	No.1
		⑨ ・食生活改善推進委員の養成・活動支援	健康づくり課(A)	No.14
		⑩ ・高齢者への食生活の自立支援、栄養改善の推進	健康づくり課(A)・長寿福祉課(B)	No.7. 9
感謝・マナー・コミュニケーション 目標2 楽しく食事をし、食への 感謝の気持ちを育む	食を通じたコミュニケーションの推進 子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着 食に関する感謝の心の育成	① ・給食・食育だより、給食ニュース、食育ポスターなどの情報発信	子育て支援課(A)・学校教育課(A)	No.1. 2
		② ・広報紙、ホームページなどを活用した食育情報の提供	子育て支援課(A)・学校教育課(A)・健康づくり課(A)	No.1. 2. 3
		③ ・各種健康診査、健康教育などでの生涯各期に応じた食育の推進	子育て支援課(A)・学校教育課(A)・健康づくり課(A)・健康づくり課(A)・子育て支援課(A)・健康づくり課(A)	No.1. 2. 4. 5. 6. 7
		④ ・学習活動や保育のなかで人と一緒に食べる楽しさ、家族団らんで食べる楽しさの啓発	子育て支援課(A)	No.6
		⑤ ・食事のマナーやあいさつなど、食生活に関する基礎的な習慣の普及	健康づくり課(A)・子育て支援課(A)・社会教育課(実施予定)・健康づくり課(A)・社会教育課(B)	No.4. 6. 10. 11. 12
		⑥ ・児童館、児童クラブ、なかまの会などで手作りおやつ等の推進	子育て支援課(A)	No.15
		⑦ ・農業体験を通じた食への感謝の心の育成	子育て支援課(A)・健康づくり課(A)	No.6. 13
		⑧ ・仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進、啓発	地域振興課(A)	No.16
体験・伝承 目標3 食に関する体験により 燕市の食文化を伝えていく とともに食への関心を深める	食に関する体験交流の拡大 燕の食文化の情報収集及び発信	① ・給食・食育だより、給食ニュース、食育ポスターなどの情報発信	子育て支援課(A)・学校教育課(A)	No.1. 2
		② ・広報紙、ホームページなどを活用した食育情報の提供	子育て支援課(A)・学校教育課(A)・健康づくり課(A)	No.1. 2. 3
		③ ・各種健康診査、健康教育などでの生涯各期に応じた食育の推進	子育て支援課(A)・学校教育課(A)・健康づくり課(A)・健康づくり課(A)・子育て支援課(A)・健康づくり課(A)	No.1. 2. 4. 5. 6. 7
		④ ・幼児・学童を対象とした料理教室など食に関する体験活動の推進	社会教育課(実施予定)・健康づくり課(A)・社会教育課(B)	No.10. 11. 12
		⑤ ・幼稚園・保育園・小中学校での農業体験の推進	子育て支援課(A)	No.6
		⑥ ・給食の献立や学校行事に郷土食を取り入れた食の伝承	子育て支援課(A)	No.6
		⑦ ・食生活改善推進委員などによる地域、小中学校への郷土料理の普及	社会教育課(実施予定)・健康づくり課(A)・健康づくり課(A)	No.10. 13. 17
		⑧ ・田んぼアートなどを通じた市民への農業体験の推進	農政課	一部休止
		⑨ ・家庭料理講習会、郷土料理講習会など料理講習会を通じた食文化の普及	社会教育課(実施予定)・No.11健康づくり課(A)・社会教育課(B)・健康づくり課(A)・健康づくり課(A)	No.10. 11. 12. 13. 17
		⑩ ・男女ともに家事参加への推進	健康づくり課(A)・健康づくり課(A)	No.5. 13
食の安全、安心・地産地消 目標4 食の安全と地元産農産物への 理解を深め地産地消を推進する	食の安全に関する普及啓発 身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大 食の環境に関する普及及び啓発	① ・給食・食育だより、給食ニュース、食育ポスターなどによる情報発信	子育て支援課(A)・学校教育課(A)	No.1. 2
		② ・食の安全・安心に関する国・県からの情報を広報紙やホームページで発信、啓発	健康づくり課(A)・学校教育課(休止・C)	No.3. 18(休止)
		③ ・幼稚園・保育園・小中学校、地域の料理講座などで地場産野菜を使用した地産地消の推進	子育て支援課(A)・学校教育課(A)	No.6. 19
		④ ・農業まつり、産業祭りの開催による燕産農産物の消費拡大	農政課(A)	No.20
		⑤ ・農産物直売所の充実	農政課(A)	No.20
		⑥ ・燕市の農畜産物を使った加工品などの商品開発や、農業と2次、3次産業などが連携した6次産業化の推進	農政課(A)	No.20
		⑦ ・「飛燕舞」や「つば九郎米」などの燕産米の普及	農政課(A)	No.20
		⑧ ・東京表参道ネスパスなど首都圏における燕産農産物・農産加工品の消費拡大	農政課(A)	No.21
		⑨ ・お米料理コンクールや一日農家レストランなどによる米、米粉の消費拡大及び地産地消の推進	休止	休止
		⑩ ・道の駅「国上」での「米粉の日」「そばの日」を設定した地産地消の推進	商工振興課(A)	No.22
		⑪ ・食品業者に対する検便の実施、食中毒予防の為に巡回指導などによる食品衛生の向上、推進	生活環境課(A)	No.23
		⑫ ・農業や化学肥料の減量、たい肥による土づくりなど環境に配慮した農業の推進	農政課(A)	No.20
		⑬ ・各世帯から排出される生ごみの減量とたい肥化による循環型社会の推進	社会教育課(B)・生活環境課(A)・子育て支援課(A)	No.12. 24. 25
		⑭ ・農村地域生活アドバイザーとの連携強化による地産地消、食育の推進	農政課(A)	No.20
目標1～4		① 食育推進のための研修及び検討会議	健康づくり課(A)・学校教育課(A)	No.26. 27

※評価:確実に実行した(A) 完全ではないが実行した(B) 実行できなかった(C)

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

子育て支援課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める		
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 肥満と生活習慣病の予防 歯や口の健康づくりに関する普及啓発	食を通じたコミュニケーションの推進 子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着 食に関する感謝の心の育成	
実施状況	①事業名	食の普及啓発	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	園児、保護者、職員	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりの発行 ・講演会の実施 幼稚園、保育園、こども園、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターで、栄養士・歯科衛生士・食生活改善推進員等で実施 ・保護者に対し、給食展示や給食の試食、レシピの提供 ・食育ポスターの掲示 ・食育の日(19日)に食育の旗を立てる 	
事業費	なし	あり(千円)
評価及び今後の課題	幼稚園・こども園・保育園は、給食の試食で薄味を感じていただき、配布するレシピで家庭で実践していただき、給食だよりの発行や講演会で知識を得ていただくなどを実施している。実践した家庭も多いので、継続して発信を続ける必要がある。子育て支援センター、ファミリーサポートセンターは、食育相談や調理実習など対象者の要望に応じた講座を実施して好評である。今後もニーズに応えた講座を実施していきたい。		
評価*	A	B	C
次年度実施計画	①事業名	食の普及啓発	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	保護者	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりの発行 ・講演会の実施 幼稚園、こども園、保育園、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターで、栄養士・歯科衛生士・食生活改善推進員等で実施 ・保護者に対し、給食展示や給食の試食、レシピの提供 ・食育ポスターの掲示 ・食育の日(19日)に食育の旗を立てる ・健康づくり課の「食育だよりに」情報提供 	
予算額	なし	あり(1.5 千円)

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

学校教育課 学校給食係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める 基本目標4:食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 食を通じたコミュニケーションの推進 食に関する感謝の心の育成	燕の食文化の情報収集及び発信 食の安全に関する普及啓発 身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大 肥満と生活習慣病の予防
実施状況	①事業名	食の普及啓発事業
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市内小中学校、燕市民・燕市職員
	④内容	・給食時校内放送資料「給食ひとくちコメント」の作成(燕地区) ・健康づくり課の「つばめ食育だより」へ資料・情報提供 ・「学校給食&食育だより」の発行・HP掲載、学校と市教委連携の「食育だより」の発行 ・学校の食育授業用教材の教材開発、教材の周知と貸し出し ・給食川柳の募集・選定と表彰
事業費	なし あり(千円)	
評価及び今後の課題	給食一口コメントは、子どもたちや教職員へ、栄養の基礎知識やマナー等に関する情報を提供するツールとなっている。学校における食の指導の基本5項目について、授業支援のための貸し出し用食育指導用教材を今年度は追加作成し、各学校のニーズに応えるようにしている。今年度始めて募集した給食川柳は、500句を超える応募があり、子どもたちの給食への関心の高さがうかがえた。 次年度は、給食川柳募集の継続と、学校給食&食育だよりのテーマ化を図っていき	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	食の普及啓発事業
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市内小中学校、燕市民・燕市職員
	④内容	・給食時校内放送資料「給食ひとくちコメント」の作成(燕地区) ・健康づくり課の「つばめ食育だより」へ資料・情報提供 ・「学校給食&食育だより」の発行・HP掲載、学校と市教委連携の「食育だより」の発行 ・学校の食育授業用教材の教材開発、教材の周知と貸し出し ・給食川柳の募集・選定と表彰
予算額	なし あり(千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める 基本目標4:食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 食を通じたコミュニケーションの推進 食に関する感謝の心の育成	燕の食文化の情報収集及び発信 食の安全に関する普及啓発 身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大
実施状況	①事業名	広報、ホームページなどを活用し食育情報の提供(食育だよりの発行)
	②実施時期	毎月19日
	③実施対象	燕市民、燕市職員
	④内容	・掲示場所:燕市ホームページ、公開羅針盤、庁内、市内幼稚園、保育園、スーパーマーケット、保健センター内、公民館 ・冊子の設置:市内医療機関53施設、保健センター ・今年度の発信テーマは、主に若い世代を対象に健康に役立つ情報を発信している。
事業費	なし あり(千円)	
評価及び今後の課題	今年度は毎月の通常たよりに加え、世帯調査票と一緒に特別版を全世帯に配布し、食育だよりのPRを行った。 今後も燕市の情報や食、健康に関する事柄をテーマに発信していく。 また、若い世代を対象にした内容も引き続きは発信する。	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	広報、ホームページなどを活用し食育情報の提供(食育だよりの発行)
	②実施時期	毎月19日
	③実施対象	燕市民、燕市職員
	④内容	医療機関への冊子の配布および、公共施設、スーパーへのポスター掲示を継続して行う。
予算額	なし あり(千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 肥満と生活習慣病の予防 歯や口の健康づくりに関する普及啓発	食を通じたコミュニケーションの推進 子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着 食に関する感謝の心の育成
実施状況	①事業名	母子保健事業[乳幼児健診(4か月・10か月・1歳6か月児・3歳児)・育児相談会(2か月・全年齢)・離乳食相談会・ハッピーベビークラブ(妊婦)]
	②実施時期	通年
	③実施対象	妊婦、乳幼児と保護者
	④内容	・集団指導(正しい食の知識や生活習慣、食事を楽しむこと等について) ・個別指導(授乳量、食事量、好き嫌い等について) ・グループワーク(母親同士のコミュニケーション推進) ・チラシ配布(ご飯の普及「おやつにおにぎり」1歳6か月・3歳児健診において) ・離乳食見本提供(離乳食相談会において毎回調理した実物を展示) ・身体計測値より肥満度算出(やせ・肥満児に個別対応)
事業費	なし	あり(555 千円)
評価及び今後の課題	燕市の3～5歳児の肥満出現率が県平均より高いことから、現在の月齢や年齢に合わせた食事・栄養指導とともに、3歳児から小学校就学前までの生活習慣についても合わせて指導していく必要がある。	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	母子保健事業[乳幼児健診(4か月・10か月・1歳6か月児・3歳児)・育児相談会(2か月・全年齢)・離乳食相談会・ハッピーベビークラブ(妊婦)]
	②実施時期	通年
	③実施対象	妊婦、乳幼児と保護者
	④内容	・集団指導(正しい食の知識や生活習慣、食事を楽しむこと等について) ・個別指導(授乳量、食事量、好き嫌い等について) ・グループワーク(母親同士のコミュニケーション推進) ・チラシ配布(ご飯の普及「おやつにおにぎり」1歳6か月・3歳児健診において) ・離乳食見本提供(離乳食相談会において毎回調理した実物を展示) ・身体計測値より肥満度算出(やせ・肥満児に個別対応)
予算額	なし	あり(386千円)

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 肥満と生活習慣病の予防 食に関する体験交流の拡大	
実施状況	①事業名	成人保健事業における食育推進 (特定保健指導・糖尿病・骨粗鬆症・職域健診指導・男性の料理教室)
	②実施時期	通年
	③実施対象	一般市民
	④内容	・特定健診や職域検診の会場等、全体への発信可能な場面では主に「減塩」をテーマに普及啓発を行っている。 ・肥満と糖尿病の予防改善事業としてスッキリ教室、健診結果活用講座、糖尿病検診結果活用講座を実施する。
事業費	なし <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> あり(269千円)	
評価及び今後の課題	全国平均・県平均よりも燕市は脳血管疾患や胃がんの死亡率が高いことから、減塩に対する取り組みは今後も継続して行う。肥満・糖尿病を中心とした生活習慣病の予防改善事業を行い、参加者の多い活気ある教室運営ができた。参加者が教室で学んだことを日常生活でも取り組めるよう、元気ががやきポイント手帳を活用した事業を来年度も実施する。	
評価*	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	
次年度実施計画	①事業名	成人保健事業における食育推進
	②実施時期	通年
	③実施対象	一般市民
	④内容	特定保健指導・糖尿病・骨粗鬆症・職域検診指導・男性の料理教室
予算額	なし <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> あり(281千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

子育て支援課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める 基本目標4:食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普啓発 規則正しい生活リズムの定着 肥満と生活習慣病の予防 歯や口の健康づくりに関する普及啓発	食を通じたコミュニケーションの推進 子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着 食に関する感謝の心の育成	
実施状況	①事業名	給食の提供	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	園児、保護者、職員	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食や保育を通じて <ul style="list-style-type: none"> 楽しく食えること マナーや感謝 食べものへの興味や知識を知る。 野菜を植えて育て、収穫、食べる。 行事食や伝統食 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの日、七夕、クリスマス、バイキングやのっぺい、黒豆、七草汁等 地産地消 <ul style="list-style-type: none"> 吉田地区で、じゃがいも、たまねぎ、かぼちゃ、だいこん、ながねぎ 除去食の提供 	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	園児は低年齢のため、食の基本となることを日々の給食で繰り返し教えていくことで年齢なりの効果がでていく。 自分達が作った野菜は、苦手なものでも食べるので観察や収穫の喜びも考え今後も継続していく。 伝統食を作らない家庭が多くなっているため、給食で提供していく必要がある。 除去食の提供は、個別対応のため事故防止に細心の注意を払っている。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	給食の提供	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	園児、職員	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食や保育を通じて <ul style="list-style-type: none"> 楽しく食えること マナーや感謝 食べものへの興味や知識を知る。 野菜を植えて育て、収穫、食べる。 行事食や伝統食 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの日、七夕、クリスマス、バイキングやのっぺい、黒豆、七草汁等 地産地消 <ul style="list-style-type: none"> 吉田地区で、じゃがいも、たまねぎ、かぼちゃ、だいこん、ながねぎ 除去食の提供 	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 食を通じたコミュニケーションの推進 食に関する体験交流の拡大	
実施状況	①事業名	機能訓練・介護予防関連事業における食育推進(機能訓練事業・頭の体操教室・各地区健康相談会・高齢者サロン)
	②実施時期	通年
	③実施対象	一般市民
	④内容	・機能訓練・介護予防事業は、リハビリや認知症予防を目的とした調理実習を実施する。バランスの良い食事をとることや、みんなで作る楽しみを味わうことで自身の健康度を高める。
事業費	なし <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> (118千円)	
評価及び今後の課題	調理実習を通して食への関心が高まり、また周りの人とコミュニケーションをとることができた。高齢者にとって食事に期待する意義は大きく、低栄養予防、身体的及び心理的な面での生活の質の維持向上、健康寿命の延伸等を目指し、継続して事業に取り組む。燕市の一貫したテーマとして高齢者においても「減塩」への健康教育は継続して実施していく。	
評価*	<input checked="" type="radio"/> A B C	
次年度実施計画	①事業名	介護予防関連事業における食育推進
	②実施時期	通年
	③実施対象	一般市民
	④内容	・介護予防関連事業での調理実習・栄養指導 ・各地区健康相談会・高齢者サロンでの栄養指導
予算額	なし <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> (118千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。	
施策	歯や口の健康づくりに関する普及啓発	
実施状況	①事業名	歯科健診などでの生涯各期に応じた食育の推進
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市民
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から歯科健診や講話を通して、セルフケアの大切さを啓発 ・乳幼児期では離乳食相談会や歯科保健事業を通して、噛むことの大切さ、仕上げみがきやおやつとの与え方などを普及啓発 ・児童、少年期ではむし歯予防のためのフッ素洗口に加え、歯科衛生士による歯周疾患予防にも力をいれている ・成人期では歯科健診を通して、定期健診やセルフケアを推進している
事業費	なし あり(千円)	
評価及び今後の課題	小児のむし歯の減少や成人期の定期歯科健診のすすめについては一定の成果がみられている。高齢者においては歯の健康保持や口腔内機能の低下予防など口腔ケアの関心度を高めていく必要がある。	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	歯科健診などでの生涯各期に応じた食育の推進
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市民
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から歯科健診や講話を通して、セルフケアの大切さを啓発 ・乳幼児期では離乳食相談会や歯科保健事業を通して、噛むことの大切さ、仕上げみがきやおやつとの与え方などを普及啓発 ・児童、少年期ではむし歯予防のためのフッ素洗口に加え、歯科衛生士による歯周疾患予防にも力をいれている ・成人期では歯科健診を通して、定期健診やセルフケアを推進している
予算額	なし あり(千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

長寿福祉課・介護保険係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。	
施策	歯や口の健康づくりに関する普及啓発	
実施状況	①事業名	地域支援事業 介護予防事業 通所介護予防事業「健康教室」
	②実施時期	3か月1クール 3か月で12回コース(運動・口腔複合プログラム)を計18回
	③実施対象	基本チェックリストで該当した二次予防対象者
	④内容	運動・口腔複合プログラム:理学療法士の運動(特に下肢筋力アップ筋トレ)に加え、歯科衛生士より、口腔清掃の指導、唾液腺マッサージ指導、食事姿勢や食環境についての指導で、低栄養・脱水の予防、経口摂取の質を高める。誤嚥性肺炎の予防。
事業費	なし <input checked="" type="radio"/> (あり) 12,500 千円)	
評価及び今後の課題	すべての教室で口腔ケアを含んだ内容となり、教室参加者全員に唾液腺マッサージや口腔体操を実施できるようになった。口渇や飲み込みの改善につながっている。訪問型に歯科衛生士の派遣も加わり、集団が苦手な教室の参加につながらない方への対応も可能。	
評価*	A <input checked="" type="radio"/> B C	
次年度実施計画	①事業名	介護予防・日常生活支援総合事業 通所サービスC
	②実施時期	1クール18回 年2クール 3地区で実施
	③実施対象	基本チェックリストで該当した事業対象者
	④内容	運動・口腔複合プログラム:理学療法士の運動(特に下肢筋力アップ筋トレ)に加え、歯科衛生士による、口腔清掃や唾液腺マッサージ指導、食事姿勢や食環境についての指導を実施。口腔摂取の質を高め、誤嚥性肺炎や脱水・低栄養の予防につなげる。教室の期間が長くなることで、歯科衛生士の関わりも増やし、習慣化につなげる。
予算額	なし <input checked="" type="radio"/> (あり) 12,008千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

社会教育課 生涯学習推進係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む		
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 食を通じたコミュニケーションの推進 子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着	食に関する感謝の心の育成	
実施状況	①事業名	家庭教育推進事業(食育推進講座)	
	②実施時期	①2月11日(土・祝) ②3月18日(土)	
	③実施対象	①小学生とその保護者 ②未就学児とその保護者	
	④内容	①おやこクッキング「おもてなしごはん」 親子一緒に料理することでコミュニケーションを図り、料理の楽しさや食への関心を高めてもらう。家庭で楽しみながら伝えられる「食」の大切さを学ぶ。 ②きっずクッキング「春のお野菜レシピ」(仮) 野菜をおいしく簡単に取り入れ、栄養バランスを学ぶとともに、楽しくクッキング体験することで思いやりの心や感謝の心、自立心を育て、子どもの健やかな心と体	
事業費	なし	<input checked="" type="radio"/> あり	50千円)
評価及び今後の課題			
評価*	A	B	C
次年度実施計画	①事業名	家庭教育推進事業(食育推進講座)	
	②実施時期	未定	
	③実施対象	市内小学生とその保護者	
	④内容	日本の食文化の伝承と、食に関する体験を通じて、食への興味・関心を高めてもらうことを目的として開催。 ◆親子で料理実習	
予算額	なし	<input checked="" type="radio"/> あり	20千円)

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める	
施策	食に関する体験交流の拡大 規則正しい生活リズムの定着 食を通じたコミュニケーションの推進 食に関する感謝の心の育成	
実施状況	①事業名	親子・幼児・学童を対象とした料理教室など食に関する体験活動の推進
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市民
	④内容	・小学生を対象に親子、または子どもの料理教室を各地区で開催している。 ・子育て支援センターにおいて、乳幼児をもつ母を対象にした調理実習にも取り組んでいる。 ・食生活改善推進委員が中心となり、各地域において正しい食の知識や楽しく食事をすることなどについて、調理実習を通して伝えている。
事業費	なし あり(千円)	
評価及び今後の課題	乳幼児をもつ母、親子、子ども達を対象にした料理教室を食生活改善推進委員、子育て支援センター、児童クラブ、なかまの会等と連携しながら開催している。 参加者には好評を得ており、継続の意向や学校など新たな依頼も来ている。	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	親子・幼児・学童を対象とした料理教室など食に関する体験活動の推進
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市民
	④内容	食生活改善推進委員との協働事業を実施予定。
予算額	なし あり(千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課 社会教育課 生涯学習推進係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普啓発 規則正しい生活リズムの定着 食を通じたコミュニケーションの推進 食に関する感謝の心の育成	食に関する体験交流の拡大
実施状況	①事業名	子ども料理講座
	②実施時期	随時
	③実施対象	子ども対象
	④内容	・子ども料理講座「エコクッキング」(西燕公民館・川前公民館) 旬の食材を選ぶ。 ごみを減らす。 食べものやエネルギーを大切にする。など
事業費	なし あり(千円)	
評価及び今後の課題	楽しく調理しながら、エコについて学べる良い機会となっている。	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	子ども料理講座
	②実施時期	随時
	③実施対象	子ども対象
	④内容	・子ども料理講座「エコクッキング」(中央公民館分館)
予算額	なし あり(千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標3: 食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める 基本目標2: 楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3: 食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める		
施策	燕の食文化の情報収集及び発信 食に関する体験交流の拡大 食を通じたコミュニケーションの推進		
実施状況	①事業名	元気磨きたいPJ	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	一般市民	
	④内容	・健康増進計画推進のプロジェクトで、プロジェクトメンバーが食を通じた食育活動も展開している。 ・笹団子などの郷土料理や、季節の食材を使った料理作りで手作りの良さを感じたり、その料理を伝え、交流やコミュニケーションを大切にしながら心の元気と体の元気をはかっている。	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	手づくりのよさを改めて発見するスマイル食Loveや男のチューボーPJなど、人数も増えてさらに参加者の幅が広がってきた。今後も自分たちの元気増進と、元気のおすそ分けを実践していく。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	元気磨きたいPJ	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	一般市民	
	④内容	健康増進計画の一翼を担っている食の取り組みとして、食に関するPJは今後も継続して実施していく予定。	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める	
施策	ご飯を主食とした日本型食生活の普及啓発 規則正しい生活リズムの定着 肥満と生活習慣病の予防 食を通じたコミュニケーションの推進	子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着 食に関する感謝の心の育成 燕の食文化の情報収集及び発信 食に関する体験交流の拡大
実施状況	①事業名	食生活改善推進委員の養成・活動支援
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市食生活改善推進委員
	④内容	・食生活改善推進委員研修会において、正しい知識の普及や食事を通じたコミュニケーションの大切さ、燕市、新潟県の食文化の伝承に取り組んでいる。 ・今年度は災害時の食についても学びを深め、パッククッキングなどの非常時の食事について実習している。 ・栄養教室は隔年実施のため、今回は29年度に開催予定。
事業費	なし <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> (委託料138 千円)	
評価及び今後の課題	食生活改善推進委員においては、寸劇、塩分見本、紙芝居などのオリジナルの媒体を作成し、保育園、各種イベント、地域において活動を展開しており、好評を得ている。現在、「つばめ食育かるた」を作成中で、次年度の活用を計画している。 地区の活動については、減塩、災害時にも使えるパッククッキングなど調理実習をはじめ、子どもから高齢者まで様々な対象にした、幅広い食育の普及に取り組んでいる。	
評価*	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C	
次年度実施計画	①事業名	食生活改善推進委員の養成・活動支援
	②実施時期	通年
	③実施対象	燕市食生活改善推進委員
	④内容	主体的な活動の推進を目指し、活動への自信ややりがいを持てるよう、食生活改善推進委員と協働して取り組んでいく。
予算額	なし <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> (委託料253千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

子育て支援課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める		
施策	食を通じたコミュニケーションの推進 肥満と生活習慣病の予防 子どもの成長過程に応じた生活習慣の定着		
実施状況	①事業名	手作りおやつの推進	
	②実施時期	不定期	
	③実施対象	児童館(来園する子)、児童クラブ、なかまの会の児童	
	④内容	自分たちで、手作りおやつを作って食べる。	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	子どもは、仲間と一緒に調理作業をすることで衛生面や食材の知識を得ることができ、楽しく食べることができる。職員は、衛生管理の負担大きいが継続する。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	手作りおやつの推進	
	②実施時期	不定期	
	③実施対象	児童館(来園する子)、児童クラブ、なかまの会の児童	
	④内容	自分たちで、手作りおやつを作って食べる。	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

地域振興課地域振興係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標2: 楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む		
施策	食を通じたコミュニケーションの推進		
実施状況	①事業名	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進、啓発	
	②実施時期	7月、11月、12月	
	③実施対象	市民、市内在勤者、市内企業経営者等	
	④内容	・ワーク・ライフ・バランスをテーマに講演会を開催(7月、11月)。 ・広報つばめ12月1日号の男女共同参画コラムに、ワーク・ライフ・バランスについて掲載。	
事業費	なし	あり (450 千円)	
評価及び今後の課題	ワーク・ライフ・バランスをテーマに、男性対象(7月実施)と事業者対象(11月実施)の講演会を開催した。男性の家事・育児などへの参画や、仕事と生活の調和による充実した人生について考える機会となり、参加者の意識啓発が図られた(参加人数 延べ138人)。引き続き、事業者と協働でワーク・ライフ・バランスを推進していく。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進、啓発	
	②実施時期	10月	
	③実施対象	市民、市内在勤者、市内企業経営者等	
	④内容	・ワーク・ライフ・バランスをテーマに講演会を開催(10月)。 ・広報つばめの男女共同参画コラムに、ワーク・ライフ・バランスについて掲載。	
予算額	なし	あり (1,421 千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める		
施策	食に関する体験交流の拡大 燕の食文化の情報収集及び発信		
実施状況	①事業名	食生活改善推進委員などによる地域、小中学校へ郷土料理の普及	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	小学生	
	④内容	・地域や学校において、笹だんごをはじめとする郷土料理の実習を食生活改善推進委員と協働し、講習を行っている。作り方を教えるだけでなく、手作りのよさや一緒に作る楽しさ、風土や先人の知恵などについても伝えている。	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	親子を対象とした笹だんご作りや児童館などでのちまき作り、郷土料理作りなど、食生活改善推進委員さんと協働し、若い世代や子どもたちに普及している。今後も新潟の味、燕の味を伝承していきたい。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	食生活改善推進委員などによる地域、小中学校へ郷土料理の普及	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	小学生	
	④内容	郷土料理を次世代(若い世代や子どもたち)に伝え、風土や風習など郷土理解を深め、愛郷心の育成を図る。	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

学校教育課 学校給食係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する	
施策	食の安全に関する普及啓発	
実施状況	①事業名	学校給食食材の放射性物質検査
	②実施時期	平成28年度は休止
	③実施対象	
	④内容	国県の抽出調査による情報量が多量になり、市町村で対応する必要がないほどであるため、休止する。
事業費	なし あり(千円)	
評価及び今後の課題	新潟県では健康福祉部及び農林水産部で検査情報を毎日公開している。県が先進的な取組を行い、情報量が充実しているため、市として取り組む必要が無い。	
評価*	A B C	
次年度実施計画	①事業名	
	②実施時期	
	③実施対象	
	④内容	次年度は項目を削除する。
予算額	なし あり(千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

学校教育課 学校給食係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大		
実施状況	①事業名	学校給食における地産地消の推進	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	市内小中学校の児童生徒	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に地場野菜導入を推進するため、地元生産者と給食食材納入推進会議を開催(月1回) ・JA越後中央営農センターから給食食材を購入 ・西部学校給食センターにおいて、地元で製造した給食用物品を展示 	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	西部地区に納入をお願いしている生産者の高齢化に伴い、今後の継続が不透明である。 30年度に稼働する東部給食センターでは、新たに生産者の開拓を進める必要がある。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	学校給食における地産地消の推進	
	②実施時期	通年(地元で野菜が取れるのは主に6月~2月)	
	③実施対象	市内小中学校の児童生徒	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に地場野菜導入を推進するため、地元生産者と給食食材納入推進会議を開催(月1回) ・JA越後中央の営農センターから給食食材・給食用精米を購入 ・西部学校給食センターにおいて、地元で製造した給食用物品を展示 ・燕地区で地産地消に協力してくれる生産者を開拓する 	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

農政課 生産振興係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	食の安全に関する普及啓発 身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大		
実施状況	①事業名	燕市農業まつり	
	②実施時期	10月29日(日)	
	③実施対象	燕市民他	
	④内容	地元産農産物、加工品、特産品等を消費者に即売する。また、農産物の品評会を行い地元産農産物の品質等を鑑賞してもらう。 「食」に対するニーズが多様化するなか、農家との交流を通じて消費者から地産地消への理解を深めていただき、顔の見える安全で安心な燕市の農産物の消費拡大を図る。	
事業費	なし	<input checked="" type="radio"/>	(1,000千円)
問題点及び今後の課題	新庁舎での4回目の開催となった。時期的に暴風雨が予想され、屋外イベントのため安全対策を万全にしておく必要がある。しかし、今年度は晴天に恵まれ来客や主催者にとって過ごしやすい日となった。		
評価*	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
次年度実施計画	①事業名	燕市農業まつり	
	②実施時期	10月下旬予定	
	③実施対象	燕市民他	
	④内容	地元食材による「大なべ」の提供や農産物品評会・もちつき等、特色あるイベントを展開していく中で、地元の消費者へ新鮮で安全・安心な燕市産農産物を提供し消費拡大を図る。	
予算額	なし	<input checked="" type="radio"/>	(1,000千円)

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

農政課 生産振興係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標3: 食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める	
施策	食の安全に関する普及啓発 身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大	
実施状況	①事業名	首都圏販路拡大推進事業「うんめえ〜つばめ産 ときめき秋の陣 Part8」
	②実施時期	10月13日(木)～16日(日)
	③実施対象	首都圏在住者
	④内容	燕産農産物の消費拡大のため、首都圏において燕市産の農産物、加工品等を広くPRすると共に、主力となる特別栽培米コシヒカリ「えちごつばめの飛燕舞」、やさしい環境で育った「つば九郎米」の消費及び普及の拡大を図り、安全・安心な燕産農産物を提供する。
事業費	なし <input checked="" type="radio"/> (1,500 千円)	
問題点及び今後の課題	首都圏の消費者と対面し、燕産農産物の販売及びPRを行う中で消費者は「飛燕舞」の特別栽培や「つば九郎米」の減減栽培等の説明には、特に耳を傾けていた。農薬の使用量等「安全安心な農産物」への関心の高まりであったと確信する。農家が様々な努力により丹精した「安全安心」な燕産コシヒカリを更にPRし、販売に繋げたい。	
評価*	(A) B C	
次年度実施計画	①事業名	首都圏販路拡大推進事業「うんめえ〜つばめ産 ときめき秋の陣 Part7」
	②実施時期	10月中旬 ～ 下旬
	③実施対象	首都圏在住者
	④内容	燕産農産物の消費拡大のため、首都圏において燕市産の農産物、加工品等を広くPRすると共に、主力となる特別栽培米コシヒカリ「えちごつばめの飛燕舞」、やさしい環境で育った「つば九郎米」の消費及び普及の拡大を図り安全・安心な燕産農産物を提供する。
予算額	なし <input checked="" type="radio"/> (1,500 千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課 商工振興課 新産業推進係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	身近で安全・安心な燕産農産物の供給・消費拡大		
実施状況	①事業名	道の駅「国上」での「米粉の日」「そばの日」を設定した地産地消の推進	
	②実施時期	随時	
	③実施対象	道の駅「国上」への来訪者	
	④内容	国上地区で収穫したそばを使った「久賀美そばの日」や県産米で製粉した米粉を使った「米粉麺の日」を毎月1回程度開催しています。また、道の駅久賀美のオリジナル商品としてそば粉で作ったアイスクリームや羊羹を販売しています。また、米粉を使ったパン作りやクッキング教室などの体験教室の開催、そば粉を使ったそば打ち体験教室を開催しています。(現在ふれあい交流センター改修中のため中断していますが、リニューアルオープン後には再開が予定されています)	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	上記の内容に関しては十分実施できていたとのこと。今後も継続して地産地消の活動に努めていきます。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	道の駅「国上」での「米粉の日」「そばの日」を設定した地産地消の推進	
	②実施時期	随時	
	③実施対象	道の駅「国上」への来訪者	
	④内容	昨年同様(予定)。詳しくは指定管理者に委託しています。なお、平成28年12月より道の駅国上食堂が、4月からは交流センターがリニューアルオープンするため、更なる普及が見込まれます。	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

生活環境課 環境政策係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	食の安全に関する普及啓発		
実施状況	①事業名	食品衛生協会補助金	
	②実施時期	年度末	
	③実施対象	燕支部(燕商工会議所)、吉田支部(吉田商工会)、分水支部(分水商工会)	
	④内容	公衆衛生の推進を目的とする、飲食店を中心とした食品衛生協会に対し、活動資金として補助を行うことにより、食品関係の衛生環境の保持、公衆衛生の向上を図るというもの。	
事業費	なし <input checked="" type="radio"/> (163 千円)		
評価及び今後の課題	市の補助金交付基準に基づき適正に補助金を交付し、衛生環境の保持、公衆衛生の向上に活用してもらっている。 直接的な助言・指導を行う機会が少なくなっていることが課題として挙げられるが、今後、食品ロス削減事業へ協力予定であり、より有効な活用を期待できる。		
評価*	<input checked="" type="radio"/> A B C		
次年度実施計画	①事業名	食品衛生協会補助金	
	②実施時期	年度末	
	③実施対象	燕支部(燕商工会議所)、吉田支部(吉田商工会)、分水支部(分水商工会)	
	④内容	公衆衛生の推進を目的とする、飲食店を中心とした食品衛生協会に対し、活動資金として補助を行うことにより、食品関係事業所、飲食店の衛生環境の保持、公衆衛生の向上を図るもの。	
予算額	なし <input checked="" type="radio"/> (163 千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

生活環境課 環境政策係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	食の環境に関する普及啓発		
実施状況	①事業名	生ごみ処理器設置補助金	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	市内に住所を有する者	
	④内容	市内の各世帯から排出される生ごみの減量化、焼却の効率化及びたい肥としての資源化を図ることを目的として、生ごみ処理器の普及促進を図る。 そのため、市内に住所を有する者で、生ごみ処理器を販売する市内に本社又は営業所を有する業者から、生ごみ処理器を購入し設置するものに対し補助を行う。	
事業費	なし	あり(285 千円)	
評価及び今後の課題	補助件数は前年対比半減。市民のごみの減量化・資源化への意識は高まってきているものの年度途中で広報等に案内を再掲載するなど、市民への周知を強化していきたい。		
評価*	(A) B C		
次年度実施計画	①事業名	生ごみ処理器設置補助金	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	市内に住所を有する者	
	④内容	市内の各世帯から排出される生ごみの減量化、焼却の効率化及びたい肥としての資源化を図ることを目的として、生ごみ処理器の普及促進を図る。 そのため、市内に住所を有する者で、生ごみ処理器を販売する市内に本社又は営業所を有する業者から、生ごみ処理器を購入し設置するものに対し補助を行う。	
予算額	なし	あり(285 千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

子育て支援課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標4: 食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策	食の環境に関する普及啓発		
実施状況	①事業名	生ごみの減量とたい肥作り及び廃油のBDF化への協力	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	保育園・こども園	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・こども園の給食の食材の廃棄部分や残飯を回収してもらっている。生活環境課のたい肥作りの原料となる。 ・保育園・こども園の給食の廃油を回収してもらい、園児バスの燃料に充てている。 	
事業費	なし	あり(千円)
評価及び今後の課題	回収された生ごみは、たい肥にリサイクルされて園の野菜作り等に利用されたり、回収された廃油は精製してBDF(軽油の代替燃料)として園児バスに利用されている。 再資源化を推進する取り組みとして今後も続けたい。		
評価*	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C		
次年度実施計画	①事業名	生ごみの減量とたい肥作り及び廃油のBDF化への協力	
	②実施時期	年間	
	③実施対象	保育園・こども園	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・こども園の給食の食材の廃棄部分や残飯を回収してもらっている。生活環境課のたい肥作りの原料となる。 ・保育園・こども園の給食の廃油を回収してもらい、園児バスの燃料に充てている。 	
予算額	なし	あり(千円)

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

健康づくり課

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1:正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。 基本目標2:楽しく食事をし、食への感謝の気持ちを育む 基本目標3:食に関する体験により、燕市の食文化を伝えておくとともに食への関心を深める 基本目標4:食の安全と地元産農産物への理解を深め地産地消を推進する		
施策			
実施状況	①事業名	食育推進計画実務者打ち合わせ会	
	②実施時期	年4回	
	③実施対象	燕市行政栄養士・担当職員	
	④内容	・健康づくり課、子育て支援課、学校教育課で行っている食育の取り組み状況等について情報交換・情報共有を行い、アイデアや今後の計画推進に向けての考え方・方向性の共有を行っている。 ・今年度は、食育推進計画について協議している。	
事業費	なし あり(千円)		
評価及び今後の課題	第2次食育推進計画の計画立案をはじめ、各課の動向や食育の取り組み状況などについて共通認識できる場となっていることから、今後も食育を推進していくために打合せ会を継続する。		
評価*	A B C		
次年度実施計画	①事業名	食育推進計画実務者打ち合わせ会	
	②実施時期	年4回	
	③実施対象	燕市行政栄養士・担当職員	
	④内容	食育の推進に向け、各課の情報を共有し、今後の方向性や連携した取り組みについて検討を行う。	
予算額	なし あり(千円)		

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか

平成28年度 燕市食育推進計画 実施状況・評価票

所属課

学校教育課 学校給食係

事業ごとに1枚の調査票を記入してください。

基本目標	基本目標1: 正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する。		
施策			
実施状況	①事業名	食物アレルギー対応の推進	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	児童生徒、教職員、学校栄養教職員、給食従事員等	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー食対応マニュアルの運用、充実 ・学校給食での除去食・代替食の提供 ・食物アレルギーを持つ児童生徒の保護者との情報交換会の開催 ・食物アレルギーに関する研修会の開催 ・庁内関係者、関係市民団体との情報共有 	
事業費	なし	あり(20 千円)	
評価及び今後の課題	東部給食センターの稼働を控え、市として学校におけるアレルギー対応の方向性を決めていく有識者会議を次年度開催する必要がある。学校における食物アレルギー対応については、今年度発足した市民関係団体からの要望を踏まえ、実行・改善できるものを精査し取り組んできた。今後も庁内関係者間の情報交換などを密に行っていききたい。		
評価*	(A) B C		
次年度実施計画	①事業名	食物アレルギー対応の推進	
	②実施時期	通年	
	③実施対象	児童生徒、教職員、学校栄養教職員、給食従事員等	
	④内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー食対応マニュアルの運用、充実 ・学校給食での除去食・代替食の提供 ・食物アレルギーを持つ児童生徒の保護者との情報交換会の開催 ・食物アレルギーに関する研修会の開催 ・庁内関係者、関係市民団体との情報共有 ・燕市食物アレルギーマニュアル策定に向けた有識者会議の開催(年1~2回) 	
予算額	なし	あり(320千円)	

* 評価…下記の評価ポイントを踏まえ、事業全体が目標にどの位達成したか

確実に実行した…A

完全ではないが実行した…B

実行できなかった…C

で評価する

評価のポイント	ア 施策の企画、立案、実施の段階で食育の視点を取り入れたか
	イ ライフステージに応じて、参加利用しやすい形態を考慮したか
	ウ 他課、他団体との連携の視点を取り入れたか